

J O C S 祈りの花束

2023年9月

今月のことば：生涯、わたしは主を呼ぼう。(詩編 116:2)

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1 自然災害などにおける 保健医療対策の充実の ため(本日、防災の日)	2 夏期募金のため
3 関東大震災で、デマに よって殺害された在日 コリアンのため。本日追 悼式開催。	4 雨宮春子短期ワーカー のため(タンザニア)	5 使用済み切手収集活動 のため	6 事務局スタッフのため	7 地区 JOCS の働きのため(明後日、仙台 JOCS きてきっぺ開 催)	8 すべての人に読み書き を学ぶ機会が与えられ、 それによって人々の健 康が守られ育まれるよう に(本日、国際識字デー * 1)	9 理事会のため(本日、定 例理事会を開催)
10 会報誌「みんなで生き る」のため	11 シロアムプロジェクト(協 働プロジェクト)のため (ケニア)	12 会員・支援者の増強の ため	13 保健と医療に関する法 律がどこでも整備され、 心身の健康が公平に守 られ育まれるように(本 日、世界の法の日* 2)	14 戦争・紛争の中で保健 医療活動に従事する 人々のため	15 タボラ大司教区保健事務 所のため(タンザニア・雨 宮ワーカー派遣先・奨学 生所属先)	16 オゾン層の破壊によって 健康な生活が脅かされ ている人々のため。保護 に取り組む諸活動のため(本日、国際オゾン層 保護デー* 3)
17 ケニア・シロアムプロジ ェクトに派遣中の短期 専門家のため	18 JOCS を支えてきてくだ さった高齢の会員の 方々のため(本日、敬老 の日)	19 開催中のタンザニアスタ ディツアーのため	20 地区 JOCS の働きのため(本日、町田 JOCS 定 例会)	21 紛争や暴力の中で心 身を病んでいる人々の ため(本日、世界停戦 と非暴力の日* 4)	22 ママ・ナ・ムトプロジェ クト(協働プロジェクト)の ため(タンザニア)	23 新しいワーカーが与えら れるように
24 岩本直美ワーカーのため(バングラデシュ)	25 JOCS の会員のため(特 に青森県の会員のた め。17名)	26 武器使用によって健康 を害されてる人々のた め。JOCS の働きが平和 構築に寄与するため(本 日、核兵器の全面的廃 絶のための国際デー* 5)	27 JOCS の奨学生のため (特にバングラデシュの 奨学生のため。現在 4 名)	28 ワーカーの安全のため バングラデシュ、タンザ ニアの治安のため	29 JOCS の広報活動のため。明日と明後日「グロー バルフェスタ」に出展	30 本日、ローマで開催され るエキシブショナルな祈り の会に連帯して日本各 地で開かれる集いのた め

* 1 : International Literacy Day * 2 : World Law Day * 3 : International Day for the Preservation of the Ozone Layer
* 4 : Day of Global Ceasefire and Non-violence * 5 : International Day for the Total Elimination of Nuclear Weapon

祈りの項目

岩本直美ワーカーより：カトリーン(知的・発達障がいのある子どもたちの教師)と、そのお連れ合いのアーモンドの滞在が祝福されますように



これらの短いみことばは、フランスにある超教派男子修道共同体テゼの昼の祈りから取られたものです。

より深くみことばを味わいたい方は、出典箇所を参照して文脈のなかでみことばを黙想なさってください。

聖書本文は、原則として『聖書 新共同訳』日本聖書協会発行をもとにしています。

1日（金） 2コリント 5:13-17
キリストはすべての人のために死んでくださいました。それは、生きている人たちが、もはや自分自身のために生きるのではなく、自分たちのために死んで復活してくださった方のために生きるためです。

2日（土） エレミヤ 1:4-8
主はエレミヤに言われた。「私があなたを、だれのところへ遣わそうとも、行きなさい。彼らを恐れることはない。私があなたと共にいて、必ず救い出す。」

3日（日） マタイ 16:21-27
イエスは言われた。「自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、私のために命を失う者は、それを得る。」

4日（月） サムエル上 3:1-18
エリは少年サムエルに言った。「もしまた呼びかけられたら、こう言いなさい。『主よ、お話してください。僕（しもべ）は聞いております。』」

5日（火） ネヘミヤ 9:9-19
主よ、まことに憐れみ深いあなたは、民を荒野に見捨てることはなさらなかった。昼は雲の柱を取り去ることなく行く手を示し、夜は火の柱を取り去ることなく行く道を照らされた。

6日（水） 詩編 18
主は私を広い所に導き出し、助けとなり、喜び迎えてくださる。

7日（木） ルカ 5:12-16
大勢の群集が、教えを聞いたり病気をいやしていただいたりするために、イエスのところに集まって来た。しかし、イエスは人里離れた所に退いて祈っておられた。

8日（金） ローマ 14:7-15
私たちは、生きるとすれば主のために生き、死ぬとすれば主のために死ぬのです。キリストが死に、そして生きたのは、死んだ人にも生きている人にも主となられるためです。

9日（土） 使徒言行録 8:1-8
迫害によって散って行った人々は、福音を告げ知らせながら巡り歩いた。

10日（日） マタイ 18:15-20
イエスは言われた。「二人または三人が私の名によって集まるところには、私もその中にいる。」

11日（月） エレミヤ 3:12
主は民に言われる。「立ち帰れ。私は慈しみ深い。」

12日（火） マタイ 18:12-14
イエスは言われた。「羊飼いは、迷い出た一匹の羊を見つけたら、迷わずにいた九十九匹より、その一匹のことを喜ぶだろう。そのように、小さな者が一人でも滅びることは、あなたがたの天の父の御心ではない。」

13日（水） イザヤ 63:7-14
イザヤの預言。「私は主の慈しみを語ろう。その民に賜ったすべての恵みを告げよう。」

14日（木） ヨハネ 16:12-15
イエスは言われた。「真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。その方は、自分から語るのではなく、聞いたことを語り告げるからである。」

15日（金） 1コリント 2:1-9
パウロは記す。「私は神の秘められた計画を宣べ伝えるのに優れた言葉や知恵を用いませんでした。なぜなら、私はあなたがたの間で、イエス・キリスト、それも十字架につけられたキリスト以外、何も知るまいと心に決めていたからです。」

16日（土） ローマ 15:7-13
希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくださるよう。

17日（日） マタイ 18:21-22
ペトロはイエスに尋ねた。「主よ、兄弟が私に対して罪を犯したなら、何回赦すべきでしょうか。七回までですか。」イエスは言われた。「あなたに言うっておく。七回どころか七十倍までも赦しなさい。」

18日（月） 詩編 103
私の魂よ、主をたたえよ。私の内にあるものはこぞって聖なる御名をたたえよ。私の魂よ、主をたたえよ。主の御計らいを何ひとつ忘れてはならない。

19日（火） コロサイ 3:12-17
パウロは記す。「互いに忍び合い、責めるべきことがあっても、赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたも同じようにしなさい。」

20日（水） シラ 2:1-9
主を畏れる人たちよ、主の憐れみを待ち望め。わき見をしてはならない。

21日（木） マタイ 9:9-13
✠福音記者使徒聖**マタイ**日
イエスは通りがかりに、マタイという人が収税所に座っているのを見かけて、彼に言われた。「私に従いなさい。」彼は立ち上がってイエスに従った。

22日（金） エフェソ 2:13-18
パウロは記す。「キリストは私たちの平和です。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊しました。」

23日（土） 2コリント 4:7-12
私たちは、神の栄光の宝を、土の器に納めています。この並外れて偉大な力が神のものであって、私たちから出たものでないことが明らかになるために。

24日（日） イザヤ 55:6-11
神に立ち帰るならば、豊かに赦してください。主は言われる。「私の思いは、あなたたちの思いと異なり、私の道はあなたたちの道と異なる。」

25日（月） ヘブライ 12:28
私たちは揺るがされない御国を受けているのですから、感謝の念をもって、神に喜ばれるように仕えていこう。

26日（火） サムエル下 22:1-20
主は私の岩、砦（とりで）、ほむべき方。主を私は呼び求め、主は私を救われる。

27日（水） 1ヨハネ 2:1-6
ヨハネは記す。「神の内にもいつもいると言う人は、イエスが歩まれたように自らも歩まなければなりません。」

28日（木） 詩編 119:81-88
主よ、あなたの戒めはすべて確かです。人々は偽りをもって私を迫害します。慈しみ深く、私に命を得させてください。

29日（金） 2テモテ 2:8-13
パウロは記す。「私たちは、キリストと共に死んだのなら、キリストと共に生きるようになる。」

30日（土） フィリピ 3:4-14
パウロは記す。「私は、キリストとその復活の力を知り、その苦しみにあずかって、その死の姿にあやかりながら、何とかして死者の中からの復活に達したいのです。」